

令和6年度用 藤枝明誠高等学校学校自己評価

※評価基準 A：十分に実践されている B：ある程度実践されている C：不十分である D：わからない

教育目標	「学園は、教える者と教えられる者とが、相互の信頼によって相互に生かされる精神的な共同体」という理念の下、知・徳・体を錬成し、調和ある人間像を確立する。					
経営方針	「自律的な精神」、「思考力と創造的な知性と技量」「自然愛や人間愛を大切にす豊かな情操」を培う。 また、日本人としての美徳を育て、実践的な社会性を養うとともに、国際化・情報化社会のフロントランナーとして、社会貢献できるフェアなリーダーとしての資質を培う。					
重点目標	I 学習指導の充実	II 進路指導の充実	III 心豊かでさわやかな生徒の育成	IV 広報・渉外活動の充実	V 教育施設・設備の活用	
項目	令和6年度具体的な方策または評価項目を評価する具体的な指標 ※【 】は数値的目標		令和5年度実施結果(成果は○、改善すべき事項は◇) ※丸数字は左欄丸数字の項目に対応		中間学校自己評価	
					評価	中間学校関係者評価
I 学習指導の充実	授業改善への取り組み	① 生徒の意欲が高まるような分かる授業を実践するとともに授業改善に努め、授業アンケートの結果向上を図る。 【授業満足度調査(生徒)を年2回実施】 【生徒の授業満足度(満足+どちらかといえば満足の比率)95%】	① ○授業満足度調査を2回実施し、【生徒の授業満足度(「満足」+「どちらかといえば満足」の比率)】は目標値に届かなかったものの、93.5%(R4)から94.1%に向上し、より目標値に近いものとなった。また、授業満足度調査の結果の教員へのフィードバックも実施された。	A 28%	・教室に設置されたプロジェクターを有効利用して授業が行われるようになってきている。 ・ICT化に向けて創意と努力が見られた。 ・教員の指導力向上のための学習・教材研究は、まだ十分とは言えないが最近では方々で行われるようになった。 ・公開授業や対外的な研究授業等を、教科毎ローテーションしても継続して実施することが必要である。 ・新人教員や若手教員をベテランがサポートする機会、システムを構築し、若手教員の育成に力を入れるべきである。 ・教員自身が授業に対する意識・姿勢を顧みて授業力を高める努力をし、教員による授業の質の差をなくしていくべきである。	A 0%
		② 各科、各クラス間、各教員間の指導の格差の改善を図る。 ③ 定期テスト後に教科会議を開催し、学力定着度の検証及び教科指導の改善を行う。 ④ 各教科でテーマを設定した研究授業を行い、授業力の向上に努める。	② ◇各科、各クラス間や教員間の指導の格差がまだあるため、教科内での検討・指導等、更に改善が必要である。 ③ ○教科会議を毎週行える状況(時間割)があり、指導の改善のための教科会議が実施されている。 ④ ◇テーマを設定した研究授業が実施されなかった。	B 60%		B 89%
学力の定着と向上に向けたきめ細やかな指導		① 放課後プロジェクトや「9時まで学習」の一層の活性化を図る。 【9時まで学習参加率65%以上】	① ◇図書室における放課後プロジェクトの参加は前年並みであった。 ○例年以上に職員室及び職員室前フロアで、積極的に個別指導を受ける生徒は増加した。 ○「9時まで学習」の参加率は、57%で前年度の64%より減少したが、数学・英語における特別補講の参加者は盛んであった。	A 34%	・8時まで学習に参加する1、2年生が増えるとなお良い。 ・非常勤講師の諸先生方を含め、放課後の時間帯等よく活用されている。 ・定期試験の成績不振の生徒たちへの事後指導(再試験等)が、さらに拡大して実施されればと思う。 ・朝学習の実施など絶大な効果とまではいえないが、実施できている。 ・クラス、指導担当によって生徒へのフォローに差がある。 ・総合コースの授業及び授業時間の見直しは必要である。 ・教務課、進路課からの具体的なビジョンの提示が必要である。 ・土曜日はクラスによって有欠者が多いうえ、出張で不在の教員もあり、自習にせざるをえない授業もあり、授業を成り立たせるための工夫・システムが必要である。	A 0%
		② 予習、復習、宿題の提出・点検指導等の徹底を図る。 ③ 英語検定指導等を継続して組織的に行う。 【英検2級300名以上、準1級20名以上】	② ○各教科・各学年において、細かな指導が実践された。また、『明誠ダイアリー』を利用した学習習慣確立のための指導が、各クラスで実施された。	B 52%		B 100%
		④ 学力の基礎である国語力(文章読解や表現力)の向上のための取り組みを行う。 【論理エンジンの有効活用・指導】	③ ◇【英検2級取得者数259名、準1級取得者数17名】前年より英検2級取得者数が28名減少、準1級が2名減少した。上位の級の受験推進、英語学力の全体的な底上げが必要である。	C 13%	・朝学習の実施など絶大な効果とまではいえないが、実施できている。 ・クラス、指導担当によって生徒へのフォローに差がある。 ・総合コースの授業及び授業時間の見直しは必要である。 ・土曜日はクラスによって有欠者が多いうえ、出張で不在の教員もあり、自習にせざるをえない授業もあり、授業を成り立たせるための工夫・システムが必要である。	C 0%
		⑤ 国際教養教育を推進する。 ⑥ 普通科生徒の学力・学習意識向上のための指導を実施する。 ⑦ 大学入試に対応した問題を定期テストに導入する。 ⑧ 家庭学習を充実させるため、オンデマンド教材の配信が実施できるように環境を整備し、配信を実施して学力の定着と向上に努める。 ⑨ ICTを利用したオンライン授業が実施できるように環境を整備し、休校時等のオンライン授業実施に備える。	④ ○論理エンジンによる指導が実施されているが、引き続き国語力向上に努めたい。 ⑤ ◇Dream Gateway Programの実施、留学生の受け入れが行われ、グローバルな視点の涵養がなされたが、国外からの教育訪問団との交流がまだ復活しておらず、今後の復活に期待したい。 ⑥ ◇各学年、教科毎に対応を行っているが、統一した計画による実施には至らなかった。 ⑦ ○各教科において、大学入試共通テストに向けて定期テスト等の工夫を行っている。 ⑧ ○スタディサプリを全生徒が使用できる状態となっており、高校では到達度テストによるフィードバックも行われた。	D 1%		D 0%

			⑨ ○Wi-fi 環境及びプロジェクターの全教室設置が行われ、授業時に活用された。また、休校時等にオンライン授業配信を実施する環境は整った。				・3年生の9時まで学習は知られているが、8時まで学習を行っている知らない親がいるのではないか？ ・明誠ダイアリーは家の机に置きっぱなしで使っていない。
Ⅱ 進路指導の充実	進路希望の達成に向けたきめ細かな指導	① 進路講話や個別面談、総合的な学習等(キャリア教育の推進を含む)により目標設定と進路意識の早期確立を図る。 ② 教員の教科・進路指導の力量向上を図る。 ③ 教科検討会で模擬試験結果の検討を行い、生徒各個人に対応した指導を行う。 ④ 生徒の満足度の高い進路指導を行い、大学への現役合格達成を図る。 【現役合格 95%】	① ○高校1年生の進路ガイダンスでは河合塾「R キャップ」を使い、文理選択研究の一助とした。後期は外部講師による大学選びについて講演を行い進路意識の高揚に役立てた。 ○高校3年生対象の大学説明会、高校2年生対象の学部・学科説明会では45大学に来校していただいた。生徒たちは熱心に説明を聞き、進路目標の設定・進路意識の高揚に大きな意義があった。 ○高校2年生で活用した『志望理由書・マスターノート』は、新入試に対応する教材として今後も活用したい。 ② ◇新課程入試についての広報を心掛けたが、研修会の必要があった。 ③ ◇外部模試後の分析・検証の機会が持てなかった。 ④ ○四大志望者の大学現役合格率は98.3%で目標の95%を上回った。また浪人も5名(在籍数の2.0%)で「現役主義の明誠」の目標に近いものとなった。	A 49% B 46% C 4% D 1%	・各学年、各科、各コースに対応した進路に向けた対策が施されている。 ・担任や学年教員間だけでなく、非常勤講師を含めて日常的に実施されている。 ・熱心に担任の先生が対応している。 ・1年次から面談を通して、しっかりと行われている。 ・志望理由書指導は担当者が他の先生の助力を仰ぎつつも責任を持って行いたい。 ・教員の熱意やスキルがあっても生徒が受け身である。生徒が積極的に自らの進路に向き合うようにさせる指導が必要 ・きめ細やかな指導を、統一した指針で行いたい。	A 67% B 33% C 0% D 0%	・受験を経験した先輩からの話を聞く機会があるとよいと思う。 ・教員の熱意、スキルの割に生徒が受け身であるとのコメントが残念です。生徒が意欲的に進路について考える方策を考えたいです。指導マニュアルの整備が必要かと思えます。 ・進学に対する意欲を持たせてくれている。 ・意識高く行動できている。 ・外部模試後の分析、検証の機会が持てなかったのは残念。 ・担任の先生をはじめ、多くの先生が熱心に進路指導を実施しているのはありがたい。 ・先生と生徒とのコミュニケーションがとれているので、とても安心しています。 ・面談の時、わかりやすい進路指導をしてもらえた。
	難関大学等の合格に向けた指導	① 国公立大学及び難関・中堅私立大学に合格できるような学習・進路指導を推進する。 国公立大学の総合型・学校推薦型選抜にも積極的に挑戦する(学研小論文講座の活用)。 【第3学年 進路目標】 東大・京大・国公立大医学部→複数合格 旧帝大→二桁合格 国公立大→80名以上 (静岡大・静岡県立大・静岡文芸大→40名以上) 早・慶・上→10名以上、 GMARCH・東京理科・関関同立→80名以上 ② 旧帝プロジェクト(上位層の強化) ③ 共通テスト対策講座 ※②、③共に「9時まで学習」の時間を活用 ④ 医進プロジェクトで国公立大医・薬等の指導強化	① ◇2023年度入試の国公立大学合格数は、総合型選抜・学校推薦型選抜20名、前期32名、中後期13名で計65名であった。在籍数に対する国公立合格者の割合は20%であった。主な内訳は東京大1名、国公立医学部2名、そして地元の静岡大11名、静岡県立大10名等であった。難関私大は、早稲田大4名、上智大2、東京理科大4名、明治大3名、青山学院大2名、立教大5名、中央大6名、法政大3名、関西大2名、関西学院大4名、同志社大4名、立命館大6名、計45名であった。 ② ○◇最難関大学に挑戦する学力トップ層への指導は、旧帝プロジェクトで行ったが、ノウハウを継承するためにも、中堅・若手職員も参加しチームでの受験指導体制を構築すべきである。 ③ ○各教科とも放課後の個別指導には積極的に取り組んでいただいた。また「9時まで学習」を利用して、英語・数学で定期的に共通テスト対策を意識した講座を実施していただいた。 ④ ○国公立立合わせ医学科合格2名、薬学16名であった。	A 38% B 50% C 8% D 4%	・最近の進路実績にも表れている。進路課、教科、学年、担任と難関大学合格に向けてできる限りの指導を行っている。 ・9時まで学習に象徴されるように、他校に比べればよく行われている。 ・放課後の講座が盛況である。 ・大学入試制度の変更に応じての受験対策など、手厚い指導やフォローがなされている。 ・講座などは充実しているが、授業での成績と模試入試での成績に乖離があるため、難関大学を目指す目標と授業のありようを考えるべきである。 ・受験した生徒が残してくれた面接時の資料などをファイルに整理するなどして、より効率的に活用する必要がある。	A 0% B 89% C 0% D 11%	・生徒に寄り添い充実したご指導をして頂けるのは安心感がある。 ・毎回お話しさせて頂いていますが、難関大学合格に向けての指導力向上を、場合によっては専門の外部講師の協力を得ることも必要かと。 ・難関大学への進学者の増加は大変期待している。 ・放課後の講座など、手厚いフォローはとてもありがたいと思っています。ただ、授業での成績と模試入試での成績に乖離があるのは気がかりなので、授業のあり方をぜひ再考していただきたい。 ・「9時まで学習」の利用によって、塾へ行かなくても大丈夫ということに期待しています。
Ⅲ 心豊かでさわやかな生徒の育成	社会性や道徳心の育成	① 礼節を重視し、様々な場面でマナーや社会的規範意識を育成する。 正門での礼や予鈴黙想の励行、HRでの朝終礼時の指導・国旗、校旗の掲揚指導・校長講話等 ② 校内外の美化や教室等の整理整頓に対する指導 ③ 交通ルール、マナーの指導を通し、危険察知と思いやりの心を育み交通事故防止を図る。 【交通事故10件以内】日常の交通ルール指導・自転車マナーアップ教室・街頭交通指導	① 礼節指導では、全体的に校内での挨拶等は良好である。 ◇校外での社会道徳や立ち居振舞い等の一層の指導が必要である。 ② 教室の整理整頓はHRにより差はあるが、担任の指導により生徒の意識向上が見られる。 サッカー部、陸上部、野球部等の清掃活動は、校内や学校周辺の清掃・除草等環境美化に貢献した。 トイレ清掃・教室内整理整頓・水回りの清掃指導を実施した。 ③ 職員による登校時の街頭交通指導により交通安全意識の向上も見られた。生徒課による下校時の街頭指導の実施。命のメッセージ展実施5/18～5/19	A 24% B 63% C 13% D 0%	・気持ちよく挨拶する生徒が多いのは本校の良い特徴であると思う。 ・学年集会、各ホームルームでは行われていると思う。 ・全校集会の場で行う道徳教育に関わる話をさらに増やした方がよい。 ・概ね良好である。駅前での指導や自転車マナーの向上も不可欠である。 ・社会人として、指導する側として、教員は話し方・立ち居振舞いに十分な配慮をしなければならない。 ・クラス指導、部活指導で人間形成ができています。	A 22% B 78% C 11% D 0%	・ルール、マナーは繰り返し伝えていかなくてはならず、大変なことです。継続的なご指導を今後もお願いいたします。 ・礼節の指導と生徒のマナーには定評があると思います。 ・明誠イコールあいさつがしっかりできているイメージがある。実際もしっかりとしたあいさつができています。 ・来校時にはとても気持ちの良いあいさつをしてくれる生徒が多く、素晴らしいと思う。また、部活動での清掃活動のおかげで、グラウンド等がとてもきれいな事は誇れると思う。

	<p>安全な自転車使用のため点検整備は、自転車整備士によるものとし、TSマーク等を利用</p> <p>④ 徳育を強化し、思いやりの心を育成するとともに問題行動の発生を防止する。</p> <p>⑤ 生徒の観察、生徒面談、いじめアンケート等を活用して、いじめ防止に取り組む。</p> <p>【いじめアンケート年3回実施・学校生活アンケート実施・保健室相談箱の設置】</p> <p>⑥ スマートフォンの使用方法などSNSについての啓発を行い、問題発生を防止する。</p> <p>【「スマホ安全安心講座」実施・「スマホの17の約束」配布と家庭での約束作り(地区会)】</p> <p>⑦ 教員の生徒指導力、クラス経営力向上のための研修(救急救命法、生徒指導、スマホ安全安心講座)の研修を実施する。</p>	<p>◇交通マナーについて、地域住民から苦情が時折寄せられた。主に一時停止不履行・併進等、先生方の指導が浸透しない生徒もおり、繰り返しの指導が必要である。</p> <p>◇交通事故は、5年度は22件に増加</p> <p>ほとんどが軽微な事故であるが、重大事故に繋がらないように日常の指導継続。自転車施錠点検を実施。施錠率率は向上したが、継続指導が必要</p> <p>④ ◇問題行動6件10名、停学2件2名、謹慎2件6名、校長戒告1件1名、教頭戒告1件1名</p> <p>○各学年とも個々の生徒指導は当然あるが、全体的には落ち着いた学校生活を送っていた。</p> <p>⑤ ○いじめアンケート年3回・学校生活アンケートの実施</p> <p>いじめに関する調査、学校生活アンケートは、いじめの防止、友人関係の改善や生徒指導に活用した。</p> <p>⑥ スマホ等の使用は、多くの生徒はルールを守っているが、校内・登下校中のルール違反等の生徒も見られるため、日々の指導を継続</p> <p>⑦ 救急救命法の実施による緊急時の対応・いじめに関する研修により未然防止と早期発見と対応</p> <p>スマホ安全安心講座の実施によるスマホ利用の啓発</p>	<p>・時代に合わせて指導の仕方も変化してきており、事前にトラブルを防ぐための工夫も必要となっている。</p> <p>・基本的な挨拶、話の聞き方など運動部とそうでない生徒で差がある。教員が手本となり、どの生徒へも教えていく必要がある。</p>	<p>・校外にいるときは、制服でまわりは見てるので、生徒1人1人にしっかりと伝えて、今後も指導をお願いします。</p> <p>・自転車に乗るときのヘルメットは今は義務ではないが、今後学校として義務化した方が良いのではないかと。</p>
<p>基本的な生活習慣の確立</p>	<p>① 欠席や遅刻等の減少を図る。</p> <p>② 正しい身だしなみの指導を徹底する。</p> <p>学年全体校風指導年6回実施</p> <p>③ 制服等の着用指導を徹底する。</p> <p>④ 基本的な生活習慣の指導を職員の共通理解のもとに実施する。</p> <p>⑤ 校則の遵守</p> <p>⑥ 感染症等対策の実施・健康管理指導</p> <p>手洗い、うがい・手指アルコール消毒・教室の換気等の習慣化を図る。</p> <p>保健室便りの発行では、毎月1回さくらメールを利用</p>	<p>コロナ渦による欠席・遅刻の増加はコロナ渦以降も減少に至らなかった。</p> <p>○学年校風指導を6回実施。服装面で大きな乱れはない。</p> <p>○基本的な生活習慣はある程度確立されていた。</p> <p>・制服等の着用状況は良好である。</p> <p>・体育、清掃・作業時以外のジャージ着用は見られない。</p> <p>○生徒は校則をおおむね遵守していた。</p> <p>・スマホ等の指導に関しては日常の継続指導が必要であり、慣れからルールにならないよう注意</p> <p>○各HRの手指消毒薬の設置継続と教室の換気等の指導継続。</p>	<p>A 24%</p> <p>B 66%</p> <p>C 10%</p> <p>D 0%</p> <p>・服装の乱れは少ない。</p> <p>・校外での自転車マナー、特に携帯電話の使用の指導に難しさを感じる。</p> <p>・教室管理責任者である担任の管理に対する意識を全体に高め、教室の整頓・清掃に差が出ないようにすべきである。</p> <p>・部活動生徒が核となって、さわやかな挨拶が以前よりも増えた。</p> <p>・清掃活動に対する生徒の意識を高めて行く必要がある。</p> <p>・睡眠時間の少なさが原因となり、授業中に集中力が低下する生徒がいる。生活改善の指導も必要</p> <p>・スマホの使用についてルールを守らせる指導をさらに進めなければならない。</p> <p>・女子生徒の服装・身だしなみ指導を徹底させていかなければならない。</p> <p>・厳しい生徒指導を維持していかなければ、他の高校と変わりがなくなってしまう、明誠が存在意義を失うことになりかねない。</p> <p>・本校の生徒の多くは生活習慣が確立されていると感じる。一人でも感染症の生徒が発生すると寮生や部活動を中心に感染が広がってしまう傾向にある。</p> <p>・日頃からの感染対策がまだ不十分であると感じた。</p>	<p>A 0%</p> <p>B 89%</p> <p>C 11%</p> <p>D 0%</p> <p>・登下校の生徒を見かけるが身だしなみは良い。</p> <p>・手洗いの習慣が疎かになっているのはどこも同じ様だが、今後の感染症対策も兼ね、手洗いについてもお声がけをお願いしたい。</p> <p>・ルールを先生自身が自分の言葉で生徒に説明してほしい。</p> <p>・なぜそのルールなのかを先生自身が理由を理解していないままという印象を生徒に与えており、それがルールを守らない理由になることを先生たちは自覚して欲しい。</p> <p>・本来は家庭ですべき生活習慣の躰を、学校で指導いただきありがたい。</p> <p>・感染症の広がりについては、とても身近に感じている。感染症対策については、面倒に感じる年頃かもしれませんが、必要性を根気よく教えていってほしい。</p> <p>・正しい身だしなみの指導を今後も維持していただきたいと思います。</p>

	<p>部活動の充実</p>	<p>① 学習と部活動の両立を一層推進しつつ、生活面での指導も強化することにより、心身を錬磨し、自律的な精神と協調性を養う。 【部活動加入率 80%以上】</p> <p>② 県大会や全国大会への出場及び各大会での上位進出を果たす。 【県大会出場:全ての部、全国大会出場:4部】</p>	<p>○多くの生徒が部活動に加入している。部活動・同好会加入率約 80%</p> <p>○各部のテスト前の集団学習が活発に行われた。</p> <p>○各部活動生徒が挨拶・行事等、先頭に立って集団をまとめ積極的な活動が行われた。</p> <p>○大会・試合の結果のみならず、各部活動を通して人間形成にしっかりと取り組んでいる。</p> <p>◇部活生徒の登下校時の服装、早朝時の自転車走行注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「併進、右側走行、一時停止」について指導 ・早朝時の登校服装注意 <p>○チアリーディング部の全国大会 1 位、バスケットボール部の全国高校総体ベスト 8、全国高校選手権大会 3 位と全国区での活躍があった。野球部は夏の大会県高校選手権大会 3 位、県高校秋季大会優勝、東海地区大会 3 位と甲子園まであと一歩であった。陸上競技部は 3 種目での東海地区大会での出場等活躍した。射撃同好会の全国大会出場。サッカー部は、県高校選手権大会ベスト 8、柔道部の県総体・県選手権大会個人 100 kg 超級、無差別級の 3 位等県大会での活躍があった。多くの部が県大会に出場する活躍を見せた。文化部では、棋道部が県高文連団体戦で優勝し全国大会に出場。MLAC は英語ディベートでの全国大会に出場、予選リーグを突破し静岡県勢では初のトーナメントに出場するなど活躍した。また、吹奏楽部もコンクール等での活躍があった。</p> <p>○【県大会出場:ほとんどの部 東海地区大会:5部 全国大会出場:5部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動ではないが、馬術で国体出場・上位入賞等個々の生徒の活躍も見られた。 	<p>A 55%</p> <p>B 41%</p> <p>C 3%</p> <p>D 1%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各部活動で積極的に活動が行われている。運動部を中心に実績を出している。 ・進学校なので、文化部の積極的な活動に期待したい。 ・学校の勢いこもなるので、バスケット部や陸上部のように全国で活躍できる部活動の戦績を、教員集団で向上させることができればと思う。 ・女子の入ることができる部活が少ない。 	<p>A 89%</p> <p>B 11%</p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進学校でありながら学習ばかりではないことを良い意味で対外的にアピールできていると思う。 ・生徒の活躍が素晴らしい。 ・女子の部活が少ないのは残念。 ・チアは素晴らしい。 ・女子の生徒数が少ないイメージを勝手に持っている人がいて、男女比率が偏っている？と聞かれた。 ・文武両道が明誠の良さと思います。 ・部活動が盛んな高校というイメージが強いと思う。全国大会に出場しているバスケ部や陸上部などのおかげだと思います。生徒たちのがんばりに期待したい。 ・部活動が盛んだと応援したくなります。今後も頑張ってください。 ・女子の部活も、もっと増えると良いと思います。 ・中高一貫校なので、中学生と高校生と一緒に活動している部もあれば、全く別で活動している部もある。中学生にとって高校生と一緒に活動することはすごく大きな経験になるので、少しでも交流する機会があればいいと思います。
<p>マ 広報・渉外活動の充実</p>	<p>広報活動による学校理解の促進</p>	<p>① 広報誌の発行、ホームページの活用等様々な手段を通して、本校教育に対する保護者や地域社会の理解を深める。</p> <p>② ホームページ(HP)の更新を積極的に行い、効果的な情報発信を行う。 【年間アクセス数 600,000 アクセス】</p> <p>③ 学校説明会参加者を増やす情報を提供する。</p> <p>④ 本校理解がより深まり、募集に効果的な内容にするために、広報誌等の見直しを行う。</p> <p>⑤ 地域の自治会等への情報提供や学校行事への招待等を積極的に行い、学校理解の促進と広報の推進を図る。</p>	<p>① ○「明誠ニュース」「進路だより」保護者会広報誌「初心」など予定通り発行した。</p> <p>○部活動・同好会の様子を紹介し、中学生の多様性に対応できるように努めた。</p> <p>○保護者会地区会でも出された質問や要望への回答を文書で配布した。</p> <p>② ◇HP のアクセス数が減少した。HP の更新を積極的に行い、内容の工夫も行いたい。また、スマホによる閲覧が増加しているので、見やすさや操作性への配慮をしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日のアクセス数 532,195(△32,195) <p>③ ○学校説明会への参加者数(1 日体験入学、直前相談会を除く)は、例年並みを確保することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H3・1,155 人 H4・1,305 人 H5・1,285 人 20 人の減。 <p>④ ○見直しを行ったほか、新たに国際教養コースのリーフレットを発行、配布した。</p> <p>⑤ ○入学式、卒業式、文化祭、体育大会に自治会役員を招いた。</p>	<p>A 34%</p> <p>B 57%</p> <p>C 8%</p> <p>D 1%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・以前行われていた塾主催の説明会などがコロナで無くなった。本校独自の説明会を大々的に行っても面白いと思う。 ・昨年度よりは向上していると思われるが、外部への発信を見える化して充実させていきたい。 ・もっと生徒の活動が見える発信をしたい。HP は広報紙である。中学生が興味を持ちやすいように工夫が必要 ・広告メディアの再選定を行うべき。紙媒体以外での広報を見直す時期に来ているのではないかな。 ・渉外活動に、SNS なども活用したい。 ・渉外活動がどのように展開されているのか、などのことは具体的にわかりやすく全職員に伝達してほしい。 	<p>A 0%</p> <p>B 100%</p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校案内の冊子がわかりやすく見やすい。 ・生徒募集の結果が経営に大きく影響します。 ・紙媒体や HP での広報だけでなく、中学生にも使われている SNS での広報にも力を入れることが有効だと思う。 ・「明誠ニュース」「進路だより」「初心」などは、さくら連絡網での配信ができないでしょうか。紙だと、子供のカバンの中に入ったままぐちゃぐちゃになって捨てられて、親の目に届かないことが多く、残念です。 ・ホームページが昨年と大きく変わり、写真が増え、見やすくなった。

	<p>積極的な渉外活動の実践</p>	<p>① 小中学校への積極的な学校訪問等により募集の拡大を図る。併せて、入学者の増加に有効な方策を具体的かつ速やかに実施する。</p> <p>② 焼津・藤枝・島田・榛原・小笠・袋井の小中学校を対象とし、組織的に募集活動を展開する。</p> <p>③ 学習塾への訪問を行い、募集の拡大を図る。</p> <p>④ 県外募集の充実を図り、有為な生徒の確保に努め、入試内容・方法について見直す。</p> <p>⑤ 「一日体験入学」「入試直前相談会」の充実、取り組みの強化を図る。</p> <p>【学則定員の確保】</p>	<p>① ○年間の生徒・保護者の総動員数は4,321人となり、昨年度より94人増加した。</p> <p>② ○志太・榛原・小笠・袋井地区への中学校訪問を職員で分担し、3年主任や進路指導主事と直接面談して募集拡大を図った。また、静岡地区では重点校を絞り募集活動を行った。さらに、学習塾への訪問を積極的に行った。</p> <p>③ ○副校長が学習塾への訪問を積極的に行った。</p> <p>④ ◇福岡奨学生入試では、単願合格者はいなかった。学習特待生の入学につながるような方策を検討する必要がある。札幌奨学生入試は、受験者がなく、札幌一般入試は、受験者が2人であった。</p> <p>⑤ 1日体験入学の参加者は2,483人で昨年度より101人増加した。入試直前相談会の延べ参加者数は449人で昨年度より91人減少した。</p>	<p>A 42%</p> <p>B 45%</p> <p>C 10%</p> <p>D 3%</p>	<p>・地域における渉外活動は毎年データをもとに活動されている。</p> <p>・新コース・国際教養コースは特に今の入試において進路実現には非常に有利な面があることを職員全体でアピールしていきたい。</p> <p>・全職員で中学校訪問をしているのはすごい。各中学の担当者が定期的に顔を出して関係性を作っている。</p> <p>・国際教養の募集を違う角度からテコ入れを行うべき。現在卒業生が社会人として活躍始めている。そこにスポットを当てる。</p> <p>・私学は生徒募集が上手くいってこそ学校経営が成り立つのだから、全職員で募集活動に当たるべきである。</p>	<p>A 0%</p> <p>B 100%</p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p>	<p>・各中学校、学習塾への訪問を積極的に展開されており、先方の担当とのリレーションを築けるのはすごいと思います。</p> <p>・今の中学生は高校生活に何を求めているか、の分析はどうしているのか。</p> <p>・国際教養コースの良さをもっとアピールしていけると良いと思います。ただ、国際教養という言葉で英語力のハードルが高く感じてしまうので、入学相談の時に、英語が好きで少しは成績をとれている生徒がいたら、相談の先生からも声をかけてくれると、気持ちが変わる生徒もいると思います。</p>
<p>▽ 教育施設・設備の活用</p>	<p>安全で快適な教育環境の実現</p>	<p>① 学習活動や部活動が安全かつ快適に実施できるよう常に配慮する。</p> <p>トイレ・水場の清掃活動の徹底。教室・廊下の業者によるクリーニングを実施</p> <p>スズメ蜂による被害防止のために駆除用具の設置を実施</p> <p>② 清掃状況を具体的に指示し学年主任や清掃担当と協力して清掃指導の徹底を図る。また事後の点検では不定期で総務課による点検を行う。</p> <p>教室・廊下・階段の蜘蛛の巣除去と防止のために清掃と薬剤添付の実施</p> <p>③ 破損箇所の把握と迅速な修繕を図る。</p> <p>【6月・11月・2月の一斉点検実施】</p> <p>④ 電気、紙等の節約を励行し、経費と資源の有効活用を心がける。</p> <p>⑤ 消灯、戸締まりの徹底を図る。</p> <p>・トレーニングルームの使用について注意・説明会を行う。</p> <p>・夜の施錠確認は日直と引継ぎ者の報告から不備のあった施設の管理担当に報告する。また全体への連絡により徹底を図る。</p> <p>⑥ 地震発生時の避難や防災に関する訓練・学習会を4月と8月に実施し、生徒の安全を確保する。4月は自衛隊の防災学習会を導入</p> <p>⑦ 原子力災害に対する避難計画を作成する。</p>	<p>① 毎水曜日早朝に理事長点検を実施し、施設の安全を確保した。清掃活動に力を入れた。水場・トイレ・階段の清掃状況は安定している。</p> <p>テスト期間の簡単な清掃も定着しつつあるが、教室により差がある。</p> <p>教室・廊下のポリッシャー清掃も多くの箇所で行った。</p> <p>窓枠の清掃にパーツクリーナーを使用するなどの工夫をした。</p> <p>② 掃監督者と協力を図りながら清掃指導はできている。点検後の対応も早くなった。</p> <p>③ 破損箇所の報告と修繕は迅速に行われている。</p> <p>④ 消灯、空調のスイッチオフ等の節電については、夏場を除けば改善されている。職員への配布物に関しては掲示板的に有効活用、家庭への配布物に関してはさくらメールを有効活用することができた。</p> <p>⑤ 全体的に未施錠件数は減少した。</p> <p>⑥ 5月に防災避難訓練、8月に防災学習を実施した。</p> <p>⑦ 原子力災害に対する避難計画は未作成であった(藤枝市の指針が未発表のため)。</p>	<p>A 21%</p> <p>B 50%</p> <p>C 25%</p> <p>D 4%</p>	<p>・エアコンの改修工事が本格的に始まったことから環境改善が進んでいる。</p> <p>・教室・公共スペースの床のクリーニング、トイレの業者による尿石除去が行われた。生徒の清掃には限界があるのでありがたかった。</p> <p>・不具合箇所等について、迅速な修繕がなされていると思う。</p> <p>・夏季休業中の大改修で教室は快適になった</p> <p>・家庭科で調理実習を行う際、衛生面に配慮が必要となるため、調理室の目的外の使用は控えたい。</p> <p>・老朽化が少しずつ現れてきているが、きれいな校舎を保っている。</p> <p>・設備改善は急務と感じる。</p> <p>・学校施設での熱中症対策を進めて行くべきである。</p> <p>・中学生、高校生が惹きつけられる設備が必要であると感じる。</p> <p>・ICT化を進め、集会や保護者説明会もオンラインでの実施にできないだろうか。暑い体育館で開催は常に熱中症のリスクが伴う。また、遠方に住む保護者や仕事の関係で参加が難しい保護者はオンラインでの参加やオンデマンドでの視聴が可能となる。</p> <p>・体育施設の安全管理が不十分</p> <p>・生徒の健康管理のためにも、体育施設(体育館)の空調設備の設置を早急に行うべきである。</p>	<p>A 0%</p> <p>B 100%</p> <p>C 0%</p> <p>D 0%</p>	<p>・将来、夏の気温は上昇すると予測されているので、年ごとに暑くなっていくことを考えると、熱中症対策について、空調設備を含め、検討いただき、ご対応をお願いいたします。</p> <p>・環境改善が進んでいることに感謝いたします。</p> <p>・校舎のめどがたつたのはよかった。</p> <p>・環境の改善がすすんでいることに安心しました。</p> <p>・校舎のエアコン改修が行われたのはとても良かった。ただ、体育館の空調設備が整備されておらず、熱中症にならないか心配である。また、運動を行わない時でも、暑さで集中力が欠けると思う。早急な対策が必要だと思う。</p> <p>・保護者からの意見がありまして、靴箱に防犯カメラを設置いただきたいとの声がありました。設置にはお金もかかるだろうから、そこまでしなくても、防犯カメラ設置中というシールなど、みんなが気づく所々に張るだけでも効果はあると思いますので、是非ご検討いただきたいです。</p> <p>・今年の夏は特に暑かったので、体育館で行う集会等の時の熱中症が心配です。</p>